

令和 5 年 度

幼稚園 教育 自己 診断 票

結 果

東金市立公平幼稚園

※各項目の評価については、A=4、B=3、C=2、D=1として合計して平均値を出したものを示してあります。

内 容			評価平均値	
園 の 組 織 と 運 営	教育目標	1	東金市の教育指導目標『生きる力の育成』から教育目標に立てましたが、幼児の実態に合ったもので、具体的に実践しやすいものでしたか。	3.6
	経 営	1	園務分掌の分担・割り当ては、職員それぞれに適切でしたか。	3.4
		2	分担された分掌は、適切に処理しましたか。	3.4
		3	学年運営は円滑に行いましたか。	3.0
		4	幼児の実態に合った学級経営をしましたか。	3.4
		5	職員会議では、自由に意見が言えましたか。	3.6
		6	職員の意見は、園運営に反映されていますか。	3.8
		7	報告・連絡・相談がしやすい風通しの良い職場ですか。	4.0
	研修・研究	1	園内研修は適切で、職員の共通理解のもと研究が推進されましたか。	3.8
		2	研修や研究の成果が日常の保育実践に生かされていますか。	3.4
3		研究会・研修会等に参加し、自己研鑽に努めましたか。	3.0	
反省点 <ul style="list-style-type: none"> ・クラス運営や学年運営は、主任を中心に連携をとりながら進めることができた。しかし、細かな部分で共通理解が不足していることや全体を意識しすぎて個々に合わせた保育ができないことがあった。 ・職員会議だけでなく、その都度意見や相談しやすい職場環境であった。 ・特別支援児へ対応をする職員やクラス担任の欠員等があった。適切な教育環境を提供できないことで、子ども達の活動に制約や園務分掌への偏りが出てしまった。 		改善案 <ul style="list-style-type: none"> ・細かな部分も、確認し合ったり声をかけあったりして共通理解できるようにしていく。 ・集団の姿や活動内容と個々の発達の状況に合わせて両方のバランスをみながら援助ができるように幅広い知識や対応力を身につけていく。 ・欠員補充のため全職員で協力したものの、適切な教育環境を作ることが難しい場面もあった。欠員が出ないように、また、補充がすぐにできるような体制を要望していく。 		

		内 容	評価平均値		
指 導 の 重 点	教育計画	1 年間指導計画は、幼児の実態や地域性、教育要領の改訂の重点を考慮して作成しましたか。	3.5		
		2 週日案は、提出期日を守り見通しをもって作成することができましたか。	4.0		
		3 園行事等の計画とその運営は適切でしたか。	3.8		
		行事名	評価平均値	行事名	評価平均値
		・始業式・終業式	4.0	・入園式・卒園式	3.8
		・誕生会	3.6	・園外保育	3.6
		・お楽しみ会	3.8	・フリー参観	3.8
		・運動会	3.8	・生活発表会	3.8
	内容、方法	1 年間指導計画・週日案にもとづいて保育できましたか。	3.5		
		2 幼児の興味・関心・意欲を喚起した保育活動の工夫・改善ができましたか。	3.2		
3 一人一人の発達に応じた課題に対して、教師の配慮や指導が適切にできましたか。		3.2			
4 日常の保育において、幼児が自信や意欲を高めるような援助をしましたか。		3.5			
5 発達段階に応じた基本的な生活習慣を身に付ける指導ができましたか。		3.5			
6 日々の保育の記録を取り、次の指導計画に生かしていますか。		3.5			
7 特別に支援を必要とする幼児に適切な支援をしていますか。		3.2			
環 境	1 用具や材料は、ねらいや活動内容に即して準備し配置していますか。	3.2			
	2 他学級との連携を保ちながら、保育の場を設定していますか。	3.8			
	3 幼児の活動に合わせた環境を工夫していますか。	3.5			
	4 幼児が安心して生活できる人間関係づくりに努めましたか。	3.8			
反省点		改善案			
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの姿、興味、関心に合わせ探りながら環境構成し遊びを進める難しさを感じた。 ・個人差が大きく、また、支援を必要とする子どもも多く、保育を進めていくことが難しかった。 ・誕生会では、子どもの姿や行事等を考え内容を設定した。毎年、似たような出し物になっているように感じる。 ・用具、材料の設定は、子どもの姿、遊び、活動により工夫してきたが、安全面を重視しすぎて手を貸しすぎたものや時期を遅らせるものがあった。 ・園内で、共通理解をしながら、職員一人一人が意識を持って取り組むことができていた。 		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの視点に合わせ、環境を構成していくとともに子どもの声、動き、思いを常に意識し、保育に活かしていく。 ・園全体でサポートできるよう、情報を共有したり、必要な場面で手伝いに入ってもらえるようにする。 ・いろいろなアイデアを考え、楽しめるように試行錯誤していく。 ・安全面に配慮しつつ、適当な時期に経験できるように工夫していきたいと思う。 			

内		容		評価平均値
安	全	1	危機管理について、意識の向上に努めていますか。	3.4
		2	施設設備は、日常的に点検や管理が行われていますか。	3.8
		3	室内の安全、採光、換気、保温、整理整頓などに配慮していますか。	3.4
		4	事故や問題が起きた場合、上司へ報告し保護者への説明や対応は敏速かつ的確に行っていますか。	3.8
家 庭 や 地 域	保護者との連携	1	保護者とコミュニケーションを積極的にとり、保育に生かしていますか。	3.2
		2	家庭への連絡や降園時の連絡をきめ細かく行っていますか。	3.2
	地域との交流	1	機会をとらえ、地域の人々に幼稚園に親しんでもらえるように工夫していますか。	3.2
		2	地域の施設や自然などを保育に取り入れようとしていますか。	3.2
	子育て支援	1	幼稚園のふれあい広場は、計画や内容を吟味し工夫しながら実施していますか。	3.4
		2	預かり保育の幼児の健康状態や連絡事項などについて、講師と密に連絡を取り合っていますか。	3.6
域 と の 連 携	反省点		改善案	
	<ul style="list-style-type: none"> 保護者とのコミュニケーションを積極的に取るようにしたが、話しやすい雰囲気作りをすると、より良かった。 外国語を使用する方への伝え方は難しかった。ポケトークを使用した、細かいニュアンスが伝わりづらいと感じた。 保護者との良好な関係づくりを補完するためにドキュメンテーションを作成したが、スキルアップが必要であった。 園から話したいことや話しやすい人とのコミュニケーションを優先してしまい、話を求めてくる人を受け止めて対応することが平等にできなかった。 地域との交流は新型コロナウイルス流行前に戻りつつあるが、もう少し機会を増やせると良い。 		<ul style="list-style-type: none"> 保護者の意見や不安な気持ちを受け止められるような機会をこちらから積極的に作る。些細なことでも聞いてもらえるよう、信頼関係作りをしたい。 地域との交流は、回数を増やすだけでなく、内容について職員間で協議し、子どもにとって、充実したものになるようにしていきたい。 	